

デジタル時代におけるより良い消費生活を支える信頼の構築に係る
官民共創ラウンドテーブル 第2回（要旨）

日 時：令和6年12月9日（月）10:00～11:00

方 法：オンライン

議 事：

1. 開会
2. 意見交換等
3. 閉会

主な意見等は以下のとおり。

- ダークパターン対策協会で検討しているような消費者保護のための対応策が社会の中でしっかりと認知され、機能していくことを心から願っている。
- 事業者による消費者向けのウェブサイトが「誠実」なウェブサイトなのか否かを判断しようとする場合、何をもって「誠実」と言えるかの要件の設定は難しい。
- ダークパターンか否かの判定にAIを用いることも有効なのではないか。
- ウェブサイト自体は「誠実」で、簡単に退会もできるなどダークパターンではないが、提供しているサービス内容やコンテンツに問題があるような場合に、そのウェブサイトを「誠実」と認めることはミスリードのおそれがあるのではないか。
- 直接的な金銭的被害だけでなく、解約やサービス内容を是正するためのやりとりなどで時間や手間がかかるものも少なくない。本来別の生産活動に当てられる時間がその対処に費やされたという点を被害と捉えることもできるのではないか。

（以上）